

第 7 6 回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和 8 年 7 月 2 3 日（木）午後 6 時 0 0 分～午後 6 時 4 9 分

場 所 小金井市役所本庁舎 3 階第一会議室

出席委員 1 1 人

委員長 繁 田 進 委員

副委員長 金 尾 悠 香 委員

委 員 安 島 裕 大 委員 橋 田 壤 志 委員

百 瀬 海 委員 山 下 佳 穂 委員

山 田 由加里 委員 小早川 良 信 委員

佐 藤 康 博 委員 梅 原 啓太郎 委員

鈴 木 功 委員

欠席委員 1 人

田 中 肇 委員

事務局職員

企画政策課長 廣 田 豊 之

企画政策課係長 前 坂 悟 史

企画政策課主任 山 田 仁 美

企画政策課主事 堀 子 太一郎

傍 聴 者 1 人

（午後 6 時 0 0 分開会）

◎繁田委員長 皆様、こんばんは。それでは、第 7 6 回の市民参加推進会議を開催いたします。

本日、田中委員から欠席の連絡が入っております。定足数につきましては、市民参加条例施行規則第 2 4 条に半数をもって成立することになっております。1 2 人中 1 1 名出席をいただいておりますので、本推進会議は成立しているということで御報告申し上げます。

それでは、令和 8 年度最初の会議になりますので、まずは事務局の紹介をお願いいたします。

◎事務局 令和 8 年 4 月 1 日の人事異動に伴いまして事務局メンバーが替わりましたので、御紹介させていただきます。

初めに、企画政策課長の廣田です。よろしくお願いいたします。

続きまして、企画政策係長の前坂でございます。

◎事務局 前坂です。昨年に引き続きよろしくお願いいたします。

◎事務局 主任の山田でございます。

◎事務局 山田です。今年度から担当になります。よろしくお願いいたします。

◎事務局 また、人事異動に伴いまして、新たなメンバーを紹介いたします。

主事の堀子でございます。

◎事務局 堀子です。よろしくお願いいたします。

◎事務局 今年度はこのメンバーで進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

◎繁田委員長 続きまして、資料の説明を事務局からお願いします。

◎事務局 まず、配付資料の確認をさせていただきます。今回の資料は、本日机上に配付させていただいております。順番に確認させていただきます。

まず、本日の次第でございます。資料１、令和８年度市民参加条例対象附属機関等設置状況（令和８年４月１日現在）。資料２、令和７年度市民参加状況調査。資料３、市民参加推進会議提言（案）。資料４、市民参加推進会議アンケートについて（案）。資料５、市民参加に関するアンケートのご協力をお願い（案）をお配りしております。もし不足しているものがございましたらお教えください。

以上となります。

◎繁田委員長 ありがとうございます。資料１から資料５、揃っておりますでしょうか。

それでは、本題に入りまして、次第１、市民参加条例運用状況等について、事務局から説明をお願いします。

◎事務局 それでは、資料１、令和８年度市民参加条例対象附属機関設置状況を御覧ください。こちらは、令和８年４月１日現在の附属機関等の状況をまとめたものです。附属機関等は、休会中の会議体も含め、９５機関ございます。４月１日現在、委員になっている方の総数は１,０１６人、そのうち男性が６３２人、女性が３８４人であり、男性が６２％、女性が３８％となっております。条例上は偏りが無いようにありますが、男性のほうが多くなっているのが現状です。

また、公募委員につきましては、条例上の決まりは委員のうち３０％以上ということになっておりますが、専門的な会議など、公募委員をもともと置かない附属機関もあり、それらを除いた附属機関を分母とした実績は３２％となっております。

続きまして、資料２、令和７年度市民参加状況を御覧ください。各計画の策定の際のパブリックコメントや市民アンケートの実施状況を一覧にしております。参考に御覧いただければと思います。

市では、これまで附属機関等への市民参加を促進するため、公募による市民参加の手法を整備するとともに、無作為抽出の活用など、市民の市政への参加機会を拡充してきました。公募

の審議会委員の無作為抽出につきましては、徐々にではありますが、実施した審議会が増えてまいりました。多様な市民参加に向けて、少しずつ拡充できているのかなと考えております。引き続き参加及び議論のしやすい環境作りに努めてまいります。

説明は以上です。

◎繁田委員長　ありがとうございます。資料１、資料２につきまして、何か御意見、御質問等ございますでしょうか。特に資料１は細かい資料ですが、委員会がこれだけあり、市民参加推進会議もそのうちの一つということになっております。

それでは、本題に入りまして、次第２、今期の提言に向けてを議題といたします。事務局、説明をお願いします。

◎事務局　前回の市民参加推進会議では、「市民参加の裾野を拡大させる具体的な方策について」のアイデアとしまして、「若者の市民参加」、「市民参加の促進」、「情報発信」の３点について御検討いただきました。委員の皆様から様々な御意見を頂戴したところでございますが、事務局のほうで提言に向けての骨子案を作成しましたので、御説明させていただきます。資料３を御覧いただければと思います。

今期の提言に向けて、「市民参加の裾野を拡大させる具体的な方策について」をテーマとし、これまで御議論いただいた中で出た意見やアイデアについて、若者を中心としたアンケート調査を実施し、調査結果を踏まえ、提言内容に反映させていただきたいと考えております。アンケート調査の概要につきましては、資料４で後ほど御説明させていただきたいと思います。

提言の大きな方向性としまして、「若者の市民参加」、「市民参加の促進」、「情報発信」の３点を提言の項目として記載させていただきました。こちらはあくまでも案でございますので、皆様からの御意見をいただきたいと考えております。

資料３についての説明は以上となります。

◎繁田委員長　事務局より説明のあった提言の内容や方向性について、何か御意見、御質問はございますか。

では、続けて事務局より説明をお願いします。

◎事務局　それでは、続きまして、資料４を御覧いただければと思います。こちらは、市民参加推進会議アンケート調査の概要となります。こちらのアンケート調査の実施目的につきましては、「市民参加の裾野を拡大させる具体的な方策について」をテーマとし、若者を中心とした市民参加の促進を図るためにアンケート調査を実施していきたいと考えております。

周知方法につきましては、本市が包括連携協定を結んでいる大学を中心に協力をいただきたいと考えております。

実施時期につきましては、現在、大学生が夏休み期間であることから、夏休み明けになります１０月頃を予定しております。なお、本調査では若者を中心としておりますが、若者以外も調査対象とさせていただきたいと考えております。

手法につきましては、基本的にはＱＲコードを読み取り、アンケートフォームより回答して

いただく形を検討しております。

以上がアンケート調査の概要とさせていただきます。

説明は以上となります。

◎繁田委員長 具体的なアンケートの項目等は、この後御説明があると思いますが、何か質問ございますでしょうか。

続きまして、事務局から説明をお願いします。

◎事務局 続きまして、資料５を御覧ください。こちらが、事務局で作成したアンケート案になります。

まず、設問１から４につきましては、回答者の属性を伺う項目になっております。

続いて設問５から９につきましては、市政や地域活動に参加したことがあるか、また参加できることを知っているかを伺う項目になっております。ここからの設問につきましては、資料３、市民参加推進会議の提言（案）の４に記載のあるとおり、提言内容に結びつく設問としております。

まず、設問１０から１２につきましては、市民参加の目的や動機について、「ガクチカ」や「インセンティブ」等について伺う設問となっております。設問１３から１６につきましては、市民参加の活動内容について、市政、地域活動の運営等を伺う設問となっております。

最後に、設問１７、１８につきましては、情報発信・広報について伺う設問となっております。こちらも案でございますので、後ほど委員の皆様から様々な角度から貴重な御意見をいただきたいと考えております。

本日は、せっかく皆様にお集まりいただきましたので、皆様から忌憚のない御意見をいただきたいと考えております。先程、資料５について説明させていただきましたが、こちらのアンケートにつきましても、あくまでも事務局が案として作成したものでございますので、皆様からのアイデアなどをいただきたいと思いますと思っております。そのため、これから少しお時間を設けさせていただきまして、個人ワークのお時間を設けさせていただきたいと思っております。アンケートの内容について、「この設問は不必要なのではないか」「この設問が必要なのではないか」等の御意見をいただきたいと思いますと考えております。また、資料５以外の御意見や資料に対する感想でも構いませんので、様々な視点からの御意見をいただければと思っております。よろしく願いいたします。

事務局からは以上となります。

◎繁田委員長 委員の皆様にはアンケートに答えていただくのが良いかと思っておりますので、様々なご意見をいただければと思います。それでは、今からアンケートに答えていただきたいと思います。この後、１人ずつ少しコメントをいただきたいと思います。

それでは、順番によろしいでしょうか。

◎安島委員 設問７の「市政・地域活動に参加できることを知っていますか？」について、このような形で聞かなくてもいいのではないかと感じました。設問８「市政・地域活動に参加し

たいと思いますか？」の設問に対して「思わない」と回答した方につきましては、設問 9 の選択肢に「参加方法が分からない」という項目を用意することにより、設問 7 の回答に繋がると思いました。まとめると、設問 7 を削ってもよいのではないかと、設問 9 に「参加方法が分からない」という項目を増やすとよいのではないかと思いました。

◎繁田委員長 次、お願いします。

◎橋田委員 回答形式がチェックだけでなく、自由記述もあると良いと思いました。例えば、「その他」の詳細を書いてもらうことが良いと思います。設問 14 では、時間帯として AM、PM、夜間と記載がありますが、PM は夜間にも含まれるのではないかと思いました。選択肢としてお昼、夕方を加えると分かりやすいと思います。また、設問 19 の自由記述についてですが、情報発信、広報について市がどんなことができるかの設問であるのか、情報発信だけに絞った設問なのか主語がないため分かりづらいと思いました。

以上です。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

次、お願いします。

◎百瀬委員 設問 13 の選択肢として「市の審議会（会議等）への参加」がありますが、恐らく、学生は市の審議会や会議と聞いても何のことか分からないのではないかと思いますので、説明書きがあると良いと思います。

◎繁田委員長 ワークショップ、ボランティア、まちカフェ等の具体例の記載があると答えやすいですね。ありがとうございます。

次、お願いします。

◎山下委員 市政・地域活動の定義を整理すると良いと思いました。イベントを主催することなのか、イベントに参加することなのかでは意味が異なると思います。また、市政に参加することとイベントに参加することでは意味が異なる認識であり、地域活動の定義を整理することが良いと思います。

◎繁田委員長 市政はある程度具体的にイメージがつかますが、地域活動は意味が広義であるため分かりづらいということですね。

次、お願いします。

◎小早川委員 市政と地域活動では、行政が全く関わっていない活動は地域活動という認識でよろしいのか。市政とは市の政治のようなイメージを持ててしまいます。設問の前に、アンケートの中では市政をこのような意味で捉えて回答頂きたいと記載があっても良いと思いました。設問 19 では市政参加を推進するためにと記載があるため、地域参加は該当しないのか、アンケートとして市政と地域参加の整理が必要であると思いました。

◎繁田委員長 市政と地域参加の整理ですね。

次、お願いします

◎山田委員 設問 13、14 についてですが、活動しやすい時間帯は人によって違うということ、参加方法については「その他」という項目はありますが、オンライン会議等の項目があれば、自宅から参加してくれるという人も増えるのではないかと思います。

◎繁田委員長 オンライン会議の項目を増やしたいということですね。ありがとうございます。
佐藤さん、お願いします。

◎佐藤委員 私は、地域団体からの推薦でここに来ているので、地域活動みたいなことをクローズアップしていただけるのは非常にありがたいです。恐らく、どの地域団体も人が減少し、どのように担い手を探していくかは常にあると思います。一方で、地域団体の定義とか何か、市政の定義とは何かというのもあると思います。この会議では報酬を払っていただけるという素晴らしいところだと思いますが、地域団体なんてむしろ年間 10 万とか払ってやっています。青年会議所では年会費 12 万円で、すごくお金はかかるものなので、むしろ謝礼とかを考えてやっておりません。そのため、クローズアップしていただけるのは非常にありがたいですが、性質が全然違うと思います。

◎繁田委員長 謝礼のすみ分けは必要であるということですね。

◎佐藤委員 決してクローズアップしないでくれとか言っているわけではなく、むしろ積極的に地域活動はこんなことをやるところですよと宣伝していただけるのであれば、非常にありがたいです。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

◎梅原委員 私は市の職員なので、小金井市のことというよりも自分が住んでいる自治体の活動について考えてアンケートに答えてみました。設問 7、「市政・地域活動に参加できることを知っていますか？」については、何となく参加できるものがあるのだろうというところではありますが、そこまで知っているという程でもないので、知っている、知らないの二択では答えづらいと感じました。

設問 10 では、市政・地域活動に参加することにより得たいものについては、得たいものが見つからないところがあるかなと思いました。

設問 13 では、どのような参加方法であれば市政・地域活動に参加してみたいかについてですが、そもそもそこまで詳しく知らないなので、ここも答えづらいと思いました。

設問 17 では、「市政や地域の情報を、普段どのような媒体から入手していますか？」については、自分から見に行くと、様々な情報があると思いますが、そこまで積極的に見てないので、答えづらいと感じました。やはり、もう少し何について聞かれているか情報がないと答えづらい人は多いのではないかという印象を持ちました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

お願いします。

◎鈴木委員 まず、設問 3「現在の職業」についてですが、ここの選択肢を増やしたほうが良いと感じました。

設問 7 についてですが、唐突な質問であるため設問 8、9、と併せるような形で聞くのが良いかなと思います。

設問 11、特典・報酬についてですが、図書カードとクオカードのみの記載がありますが、他の選択肢も増やして良いと思いました。また、ワークショップ、まちカフェは、一般的なもののかなという疑問があるため、説明文があると良いと思いました。各設問「その他」のところで自由記述欄等を設けるというのと、設問 19 についても広めに自由記述欄があると良いと思いました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

金尾先生お願いします。

◎金尾副委員長 形式面ですと、今お話のあった「その他」、大体のものが「その他」に該当するので、「その他」の後ろに自由記述欄を設けていただきたいという御意見にはほとんど賛同です。「その他」がない項目にも入れたほうがいいのではないかと考えておまして、設問 8 については「ものによる」というのが私の回答ですが、ものによっては参加したいと思うし、ものによっては行きたくないと思うので、「その他」についても「ものによる」のような選択肢があると良いと思いました。

設問 11、鈴木委員から報酬について意見がありましたが、昨年度の会議の中で市のポイントについてお話があったかと思います。小金井市で商店街とかで使えるポイントが御意見としてあったので、選択肢に入れても良いと思いました。

設問 11、12 については意図があって使い分けされていると思いますが、設問 11 では特典・報酬で何が欲しいか、設問 12 ではその金額という認識ですが、「謝礼」という表現になっており、どのような使い分けをされているのかと思いました。もし、特典・報酬の金額を問いたいのであれば、相当額のような表現が正確で分かりやすいと思いました。

設問 17、18 について、「その他」の後ろに自由記述で書きたいですが、設問 17 が既存のものであり、設問 18 が新しいものであると認識しております。恐らく、QRコード等のアンケートを念頭に置かれているのではないかと思います。設問 18 の選択肢から設問 17 の選択肢を外して、今から取り組むのを設問 18 でフォーカスしたいという意図なのかが分かりません。全てを並べて数値を出す、集計をしたいのであれば、設問 17 の項目も設問 18 に入れておいたほうがいいのか、意味がなくなってしまうからわざわざ外したのか。恐らく、提言の肝になってくると思います。その辺りを整理したほうが良いと思いました。それらを提言に書くということを考えると、インスタ、X、ホームページにチェックを入れられても、既存のものであるためあまり効果が感じられないと思います。私は応募する際に、横断的な募集だけに関するホームページでクリックすると応募が一発でできる、リクナビ、マイナビのような就職サイトのようなホームページであると欲しいと思います。

◎繁田委員長 ありがとうございます。他に付け加えたい方いらっしゃいますか。

今回はこのアンケートを学生中心に配るということで、学生の立場からすると時間がない、

暇もない、お金も限られる為できるだけ関わりたくないという学生がほとんどではないでしょうか？

◎百瀬委員 そうかもしれないです。

◎繁田委員長 私の学生でアンケートに答えてくれたら成績がよくなると学生に伝えれば、間違いなく答えてくれると思います。どのようにしたら学生が市民活動に参加までいかなくても市民活動に興味を持ってもらえるかを聞き出すには、設問１９の欄が書きやすいと思います。市民参加に興味のない学生にとっては、設問５、６、７、８、９は苦痛のような気がしますし、興味がある学生にとっては、設問１０、１１、１２は書きやすいと思います。設問１３については具体例を書いてあげたほうが分かりやすいと感じました。設問１４の「市政・地域活動に参加しやすい時間帯はいつですか？」の問いに対してはオンライン会議があるといいですね。往復の時間も短縮できますし、オンライン会議の場合、夕方の１時間ぐらいであれば学生でも参加できると思います。市の公式LINEはあるが、存在を知らない学生が多いと思います。そのため、アンケートを実施し、認知を確認するのが良いと思います。また、各項目に「その他」をつけて、具体例を書いていただくことが良いと思います。設問１３の市民参加の活動内容については、具体例を挙げると良いと思います。皆様からいただいた御意見を事務局のほうでまとめ、最終的には委員長、副委員長に一任いただき共有してもらえと思いますが、それ以外で何か御意見がある方はいらっしゃいますか。基本的には学生を中心としますが、学生以外の年齢層にも回答いただくため、アンケートフォームより回答が難しい方は紙ベースでの回答を検討しております。属性について、他に何か付け加えたほうが良いようなところはございますか？

◎金尾副委員長 「回答しない」とかもあると思います。どれかに該当するが、任意であるため回答しない、回答したくないという選択肢があるアンケートが多いと思います。

◎繁田委員長 何かその他でございますか？

◎梅原委員 今回、アンケートが主体ではあると思いますが、これ自体が小金井市でこんな市民参加をやっているとPRにもなるため、そのような視点も持った上で何か工夫ができると非常に良いかなと思います。

◎繁田委員長 なるほど。設問１３の市民参加の活動内容について具体例を挙げることで、PRになりますよね。

◎梅原委員 そうですね。それによって、参加してみようかなと思ってもらえることもあった良いと思います。

◎繁田委員長 他に御意見がなければ、本日いただいた御意見を事務局のほうでまとめ、委員長、副委員長の一任により、１０月頃に検討していく形でよろしいですか？

最後に、次第３、その他について事務局、お願いします。

◎事務局 皆様、お疲れさまでした。皆様からいただいた御意見につきましては、事務局のほうでまとめさせていただきまして、修正等がございましたら委員長、副委員長の一任とさせて

いただきます。次回は、11月頃の開催を検討しております。改めてメールにて日程調整の御連絡をさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎繁田委員長 それでは、また別途事務局から調整があるということですので、皆さん、よろしくお願いいたします。そのほか、何かある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、これをもちまして、第76回市民参加推進会議を終えたいと思います。ありがとうございました。

(午後6時49分閉会)